



MANTIS

Hybrid-Analogue Synthesiser



PWM Mantis

PWM Mantis PWMのハイブリッドアナログシンセサイザー、Mantisをお買い上げいただきありがとうございます。

Mantisは、Chris HuggettとPaul Whittingtonによる新しいデザインに基づいた、洗練されたデュオフォニック・ハイブリッド・アナログ・シンセです。Mantisは、Chrisが来世の新たなシンセサイザーの仕事に取り掛かる前に、今世で取り組んだ最後のシンセとなります。Paulとチームは、彼が残したコンセプトを取り上げ、それを現在の形に仕上げました。Chrisのコンセプトを可能な限り尊重し、さらに特別な部分を追加しました。

最新の「Wasp」*のアイデアと「Oscar」*スタイルのデュアルフィルターに基づく2つのアナログ・シグナル・パスを有し、それぞれに数学的に生成されたオシレーターまたはテーブルベースのオシレーターが2つとサブオシレーターがあります。モジュレーションルートとトリガー選択を備えた2つのLFOと2つのエンベロープ、そしてデジタルリバーブとコーラスにより、音創りの可能性は無限大です。

200個のパッチメモリが用意されており、そのうち100は素晴らしいアーティストやデザイナーによる厳選されたサウンドが満載されています。

Mantisは学び、そして愛すべき楽器です。私たちはMantisを愛しています。あなたにもそうなっていただけることを願っています。

*WaspとOscarは、Chris Huggettが設計し、Electronic Dream PlantとOxford Synthesiser Companyがそれぞれ作成した、広く知られ、愛されているシンセサイザーです。

はじめに

このガイドは、Mantisのセットアップと最初のサウンド作成に役立ちます。初めての体験がスムーズに進むよう、このガイドを最後までお読みください。

1. パッケージを確認する
2. 電源を接続する
3. ヘッドフォンまたはスピーカーを接続する
4. パッチをプレイする
5. オリジナルのパッチを作成する
6. Modルートを使用する
7. パフォーマンス機能とエフェクト
8. USB-MIDIと追加機能
9. トラブルシューティング
10. 保証について
11. トップパネル図

1. パッケージを確認する

Mantisの箱には以下のものが同梱されています。不足しているものがある場合、すぐに販売店までお問い合わせください。

- PWM Mantisシンセサイザー
- このガイド
- 100個のパッチと最新情報を記載したインサートシート
- 9V DC600mA電源(お住まいの国に合わせて交換可能なヘッド付き)
- USB-AからUSB-Cへのケーブル

2. 電源を接続する

Mantisをパッケージから取り出し、平らな場所に置きます。

電源を箱から取り出します。箱の中のフォーム製の端の1つに入っています。同梱されている交換可能なヘッドを確認し、お住まいの国に適したものを選択して、慎重に装着します。

Mantisの電源がオフになっていることを確認します。

ワイヤーの小さい方の端をMantisの背面にある電源ソケットに接続し、電源を利用可能な電源コンセントに差し込みます。

Mantisの電源を入れると、いくつかのLEDが点灯し、2つのLFOのLEDが点滅します。

注:Mantisは、USBバスパワーで動作させることもできますし、その方が便利です。ただし、すべてが正しく動作していることを確認するために、最初は電源を使用することをお勧めします。

3. ヘッドフォンまたはスピーカーを接続する

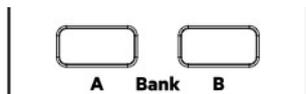
- Mantisの背面パネルには、ミキサー、アンプ、またはパワードスピーカーに接続するための2つのライン出力1/4インチTSジャックが装備されています。
- 背面パネルには、ヘッドフォンを接続するための1/4インチTRSヘッドフォンジャックが装備されています。

上記いずれかの方法で本機を接続して音を聞くことをお勧めします。最初は「マスターボリューム」を最小にしてください。

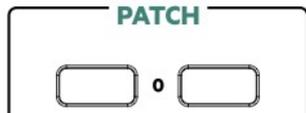
注1:Mantisは、選択したパッチによっては音量が大きい場合があります。つまり、パッチによっては他のパッチよりも音量が大きい場合があります。注意して、マスターボリュームをゆっくり上げてください。

注2:Mantisを初めてオンにするときは、アンプとスピーカーの音量が小さくなっていることを確認してください。そして、スピーカーをオンにする前に、Mantisをオンにしてください。

4. パッチをプレイする



Mantisを初めてオンにしたときは、バンクAが選択されているはずですが、そうでない場合は、バンクAのボタンを押してください。バンクAには、工場出荷時にプログラムされたパッチが含まれています。



次に、PATCHセクションで左の0ボタンを押してから右の0ボタンを押して、パッチ0-0を選択します。鍵盤を弾いてみてください。最初のMantisサウンドが聞こえるはずですが。

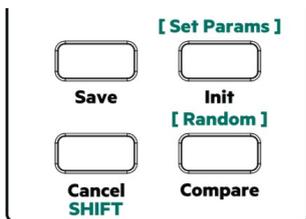
サウンドはバンク別、次に左の10の位の列別、右の1の位の列別に整理されています。したがって、パッチは次のようになります。

A00, A01, A02, A03... A10, A11, A12... A99

B00, B01, B02, B03... B10, B11, B12... B99

バンクBは、あなた創った新しいパッチを保存できるようあらかじめ空のバンクとなっています。Mantisでは、合計で200個のパッチを自由に保存／呼び出すことができます。

5. オリジナルのパッチを作成する



Mantisでオリジナルパッチを作成するには、いくつかの方法があります。

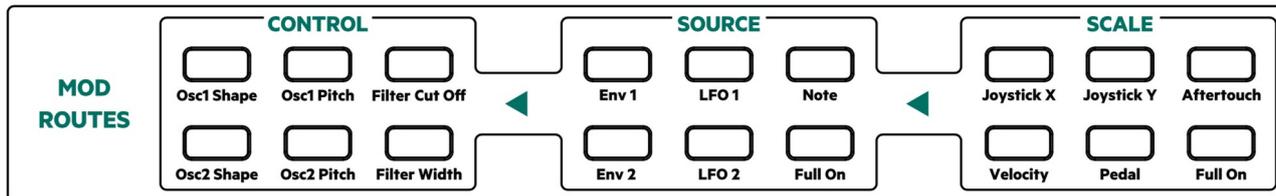
ひとつは、初期パラメータ、つまり「Init」パッチから着手する方法です。あるいは、すべてのパラメータをランダム化して、そこから着手する方法もあります。

Mantisのすべてのパラメータを初期化するには、「Init」ボタンを押します。これにより、すべてのパラメータが初期値に設定され、基本的なシングルオシレータであるノコギリ波のサウンドが得られます。

すべてのパラメータをランダム化するには、「SHIFT」ボタンを押したまま、その横にある「Random/Compare」ボタンを押します。これにより、Mantisのすべてのパラメータがランダムな値に設定されます。気に入ったものが見つかるまで、数回試してください。

パッチを保存するには、「Save」を押してから、バンクB(「10の位」と「1の位」の位置)を押し、もう一度「Save」を押します。バンクAは、ファクトリーパッチが含まれているため、最初は保護されています。SHIFTを押したままいずれかのバンクボタンを押すと、バンク保護を切り替えることができます。

6. ModRouteの使用



このセクションでは、いくつかのパラメータに変調を与えるための設定が行えます。

1. まず、影響するCONTROLを選択し、対応するボタンを押します。
2. 次に、そのCONTROLを変更するために使用するSOURCEのボタンを押します。
3. 最後にSCALEのボタンを押します。

7. パフォーマンス機能とエフェクト

ジョイスティックとアフタータッチはパフォーマンスの際に有用です。さらに、リバースとコーラスも利用できます。これらの機能を試して、サウンドにコントロールと豊かさを加えましょう!

8. USB-MIDIと追加機能

Mantisはクラス準拠のUSBデバイスです。つまり、USB経由でコンピューターに接続でき、追加のドライバーをインストールしなくてもコンピューターが自動的に認識します。

標準のコントローラーキーボードとして使用でき、すべてのノブとジョイスティックはMIDIメッセージを送受信するため、ノブの動きを記録して再生したり、ノブの動きを使用してソフトシンセやその他のMIDI楽器をコントロールしたりできます。Mantisはデュオフォニックシンセですが、ポリフォニックUSB-MIDIコントローラーとして使用できます。

USBまたはMIDIInを使用する場合、MantisはデフォルトでMIDIチャンネル1でメッセージを送受信します。これは、電源を入れながらキーボードのキーを押したままにすることで変更できます。最も低い「C」でMIDIチャンネル1が選択され、最も高い「D」でチャンネル16が選択されます。

チャンネルの選択は、電源を入れ直しても記憶されます。Mantisにはローカルオフモードがあり、電源を入れながら「Arp」を押して有効にできます。ローカルオフモードの状態は、電源を切ると保存されません。

MIDI送信および受信チャンネル、ピッチベンド範囲、HOLDモードを工場出荷時のデフォルトにリセットするには、キーボードの上部の「C」を押しながら電源をオンにします。

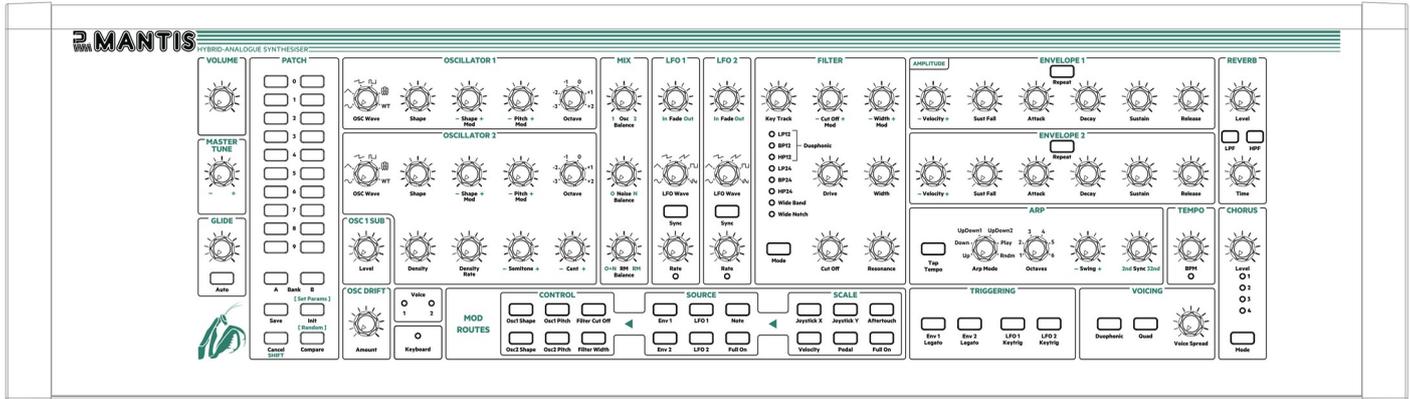
9. トラブルシューティング

問題が発生した場合は、弊社のWebサイト <https://hookup.co.jp/contact> よりお問い合わせください。

10. 保証について

Mantis には、購入日から1年間のメーカー保証が付いています。

11. トップパネル



PWM はPaul Whittington Group Limitedの登録商法です。
 © 2024 Paul Whittington Group Limited. All rights reserved.



doc: v1.4